



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場会社名 株式会社駒井ハルテック(旧 駒井鉄工株式会社)  
 コード番号 5915 URL <http://www.komaihaltec.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 須賀 安生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 中村 責任

TEL 03-3833-5101

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日

配当支払開始予定日

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	18,244	△14.3	304	—	292	—	239	—
22年3月期第2四半期	21,295	10.1	△160	—	△259	—	△266	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	6.78	—
22年3月期第2四半期	△7.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	47,233	25,069	53.1	708.34
22年3月期	47,946	25,167	52.5	711.01

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 25,069百万円 22年3月期 25,167百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
23年3月期	—	2.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

平成23年3月期期末配当金を1株当たり3円00銭(うち、1円00銭は記念配当)といたします。詳細につきましては、本日開示しております「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	9.0	1,100	58.5	1,000	76.3	2,160	331.3	43.56

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

(注) 上記の通期業績予想につきましては、平成23年3月期旧駒井鉄工株式会社通期予想に旧株式会社ハルテック下期予想を加え精査した決算数値の予想であります。なお、詳細につきましては、本日開示しております「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 36,432,711株 22年3月期 36,432,711株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,041,055株 22年3月期 1,036,246株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 35,393,967株 22年3月期2Q 35,398,844株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 連結の範囲に関する事項	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策や新興国向け輸出の増加により、一部に持ち直しの兆しが見られたものの、急激な円高の進行、株式市場の低迷など先行き不透明な状況で推移いたしました。

橋梁・鉄骨業界におきましては、橋梁では、公共投資の見直しが続くなか、新設橋梁の発注量は前年同期並みにとどまり、一方鉄骨では、急激な円高の進行など不安定要素が加わったことで設備投資に対する慎重な姿勢が強まり、依然として厳しい状況が続きました。

このような環境のなか、当第2四半期連結累計期間の受注高は、総額167億2千3百万円（前年同四半期比24.5%増）となりました。売上高は、一部大型鉄骨工事の進捗の遅れ等により182億4千4百万円（同14.3%減）となりました。損益につきましては、営業利益3億4百万円（前年同四半期期は1億6千万円の損失）、経常利益2億9千2百万円（同2億5千9百万円の損失）、四半期純利益2億3千9百万円（同2億6千6百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### － 橋梁事業 －

当第2四半期連結累計期間の受注高は、千葉県・幕張海浜デッキ整備工事、東日本高速道路株式会社・東北自動車道宮城白石川橋支承更新工事他の工事で26億5千7百万円となりました。

完成工事高は、福岡北九州高速道路公社・第504工区高架橋、群馬県・天引川橋梁他の工事で48億5百万円となり、これにより受注残高は82億9千6百万円となっております。

#### － 鉄骨事業 －

当第2四半期連結累計期間の受注高は、丸の内2丁目計画（仮称）新築工事、大手町一丁目再開発B棟他の工事で140億6千6百万円となりました。

完成工事高は、（仮称）新飯野ビル計画、大林組技術研究所再整備計画他の工事で131億3千5百万円となり、これにより受注残高は221億2千9百万円となっております。

#### － その他 －

当社は、大阪市西淀川区にある大阪事業所の未利用地部分等について賃貸による有効活用を行っております。また、連結子会社において印刷事業等を行っております。当第2四半期連結累計期間のその他の売上高は3億3百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末より7億1千2百万円減少し472億3千3百万円となりました。

資産の部では、現金預金が4億2千6百万円減少、未成工事支出金等が1億2千1百万円増加したことなどにより流動資産が1億4千万円減少し257億5百万円となりました。固定資産は5億7千1百万円減少し215億2千8百万円となりました。

負債の部では、支払手形・工事未払金が23億4千3百万円増加、短期借入金が18億8千4百万円減少したことなどにより流動負債が8千4百万円増加し162億6千7百万円となりました。固定負債は58億9千7百万円となり、負債合計は221億6千4百万円となりました。

純資産の部では、その他有価証券評価差額金が2億1千6百万円減少したことなどにより純資産は9千7百万円減少し250億6千9百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

(連結範囲の変更)

前連結会計年度において非連結子会社であった株式会社シップスは、重要性が増したことにより当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

原価差異の繰延処理

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰り延べております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計処理基準の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

#### 2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	4,006	4,433
受取手形・完成工事未収入金	16,158	16,045
未成工事支出金等	763	641
その他	4,787	4,735
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	25,705	25,846
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	5,031	4,995
機械・運搬具(純額)	1,160	1,228
土地	12,770	12,689
その他(純額)	159	151
有形固定資産計	19,122	19,065
無形固定資産	63	56
投資その他の資産		
投資有価証券	1,923	2,544
その他	518	442
貸倒引当金	△99	△8
投資その他の資産計	2,342	2,978
固定資産合計	21,528	22,100
資産合計	47,233	47,946
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	10,128	7,784
短期借入金	4,119	6,003
未成工事受入金	742	1,058
工事損失引当金	205	250
引当金	170	127
その他	901	957
流動負債合計	16,267	16,182
固定負債		
長期借入金	2,830	3,298
繰延税金負債	1,766	2,036
退職給付引当金	1,061	1,032
引当金	14	11
その他	223	218
固定負債合計	5,897	6,597
負債合計	22,164	22,779

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,619	6,619
資本剰余金	6,273	6,273
利益剰余金	12,009	11,888
自己株式	△294	△293
株主資本合計	24,609	24,489
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	455	672
為替換算調整勘定	5	5
評価・換算差額等合計	460	677
純資産合計	25,069	25,167
負債純資産合計	47,233	47,946

(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
完成工事高	21,295	18,244
完成工事原価	20,334	16,686
完成工事総利益	960	1,557
販売費及び一般管理費	1,121	1,252
営業利益又は営業損失(△)	△160	304
営業外収益		
受取配当金	19	22
受取家賃	16	18
材料屑売却益	24	23
雑収入	9	6
営業外収益合計	69	70
営業外費用		
支払利息	93	68
支払手数料	68	5
雑支出	7	8
営業外費用合計	168	83
経常利益又は経常損失(△)	△259	292
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6	—
関係会社株式売却益	—	17
その他	0	2
特別利益合計	7	20
特別損失		
固定資産除売却損	8	4
会員権評価損	—	8
その他	2	0
特別損失合計	10	14
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△263	298
法人税、住民税及び事業税	13	11
法人税等調整額	△9	47
法人税等合計	3	58
少数株主損益調整前四半期純利益	—	239
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△266	239



【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
完成工事高	9,192	10,323
完成工事原価	8,807	9,610
完成工事総利益	385	713
販売費及び一般管理費	555	657
営業利益又は営業損失(△)	△169	55
営業外収益		
受取配当金	0	1
受取家賃	8	9
材料屑売却益	19	9
雑収入	3	2
営業外収益合計	31	23
営業外費用		
支払利息	48	32
支払手数料	66	3
雑支出	5	4
営業外費用合計	120	39
経常利益又は経常損失(△)	△258	38
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
関係会社株式売却益	—	17
その他	0	1
特別利益合計	2	19
特別損失		
固定資産除売却損	2	1
投資有価証券評価損	1	—
会員権売却損	—	0
会員権評価損	—	1
特別損失合計	4	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△261	55
法人税、住民税及び事業税	△11	5
法人税等調整額	5	69
法人税等合計	△6	74
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△19
四半期純損失(△)	△255	△19

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### 生産、受注及び販売の状況

##### 1. 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(百万円未満切捨て)

項目	前年同四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注高	橋梁事業	912	6.8	2,657	15.9	7,642	21.2
	鉄骨事業	12,515	93.2	14,066	84.1	28,414	78.8
	合計	13,427	100.0	16,723	100.0	36,057	100.0

項目	前年同四半期 連結累計期間 (平成21年9月30日現在)		当第2四半期 連結累計期間 (平成22年9月30日現在)		前連結会計年度 (平成22年3月31日現在)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注残高	橋梁事業	10,188	30.1	8,296	27.3	10,444	33.0
	鉄骨事業	23,686	69.9	22,129	72.7	21,197	67.0
	合計	33,874	100.0	30,425	100.0	31,642	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### 2. 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(百万円未満切捨て)

項目	前年同四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋梁事業	5,559	26.1	4,805	26.3	12,033	26.0
鉄骨事業	15,569	73.1	13,135	72.0	33,957	73.3
その他	166	0.8	303	1.7	332	0.7
合計	21,295	100.0	18,244	100.0	46,323	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。